

この20年間多くの患者さん、従業員と過ごしてきました。
今後とも災害のない事を切に祈ります。
4月から藤永先生をお迎えすることができまして大変幸運
です。



高城 昭紀 院長

院内研修報告

2016年2月、「今日の夜間頻尿の話題」という内容で細田先生より院内研修を実施していただきました。
その内容を少しお届けいたします。

皆さんこんにちは。皆さんは夜間頻尿と聞いて何を想像されますか？あるいはご経験な
されたことがおありですか？夜、おしっこに行きたくて何度も目がさめてしまう？そう、それ
です。「あー、若い頃はおしっこで夜中に目が覚めるなんて飲みすぎた時くらいだったけど、
最近、2回ぐらい目が覚めること多いかなー？でもまーそんなもんじゃないの？」と思っ
ていらっしやるあなた。是非、今日のお話にお付き合いください。以前は医師も夜間頻尿に
ついて実は同じように考えていました。でも1999年にスウェーデンのグループが「70歳
以上のスウェーデン人男性の中で夜寝たあとに3回以上おしっこでトイレに行く人はそうで
ない男性に比べて長生きしていない。」という趣旨の論文を発表しました。これは専門的な
医師にとってもかなり衝撃的な発表でした。このため、その後世界中で同様の研究が行われ
るようになりました。むろん、日本でも早速研究が開始され2010年に東北大学のグループ
が日本で最初にその研究結果を発表しました。内容は驚くべきことに、ある地方の高齢者
(平均年齢約76歳)を調査したところ「男女を問わず夜寝たあとおしっこでトイレに2回以上
行く人は1回以下の人と比べて長生きしていない。」という内容でした。

この文章をお読みになってどきどきとした方、もう少しこの文章をお読みにさせていただく必要があります。まずは先ほどの日本
の研究では決して夜間2回以上トイレに行く人がバタバタと亡くなっているわけではなく、そうでない人と比べて5年間で100人
中5人程度の死亡率の差であるということです。しかしそれでも大きな差と感ずるのであれば、是非、泌尿器科専門医の受診を
おすすめします。現在、夜間頻尿の詳しい原因やなぜ夜間頻尿があると寿命が縮まるのか？についてはわかっていないこともたく
さんあります。しかし、急に尿意をもよほして我慢できなくなるという症状が増える「過活動膀胱」、50代以上の男性で増えてくる
「前立腺肥大症」などが見つかれば治療が開始されたり、夜間の尿が増える原因となる糖尿病や心臓病などが見つかれば治療が開始
されて体調改善、ひいては寿命の改善につながることもあります。また上記の症状で医療施設を受診なさった方の中に一部では
ありますが「尿路のがん」が見つかることもあります。今回ご説明した症状が気になる方は是非一度「泌尿器科」の表記がある医療
施設を受診してご相談なさってみてください。



細田 千尋 先生

2015年九州精神医療学会発表

2015年11月19日・20日、佐賀マリトピアにて「第61回九州精神医療
学会」が開催され、当法人から以下の4題を発表しました。次回の開催へ
向けて、また準備を続けて行きたいと思えます。



マリトピアにて

『転倒事故ゼロ』を目指して～3年間のデータから見えてきたもの～ (看護師/中村純)

今回、大きな学会での発表の機会を与えて頂き、大変勉強になり良い経験となりました。テーマにもあげた転倒に対する当院の
取り組みや現状を深く考える機会となり、今後の業務に活かしたいと思っています。ご指導、ご協力くださった皆様に深く感謝致し
ます。

認知症患者の退院支援～パーキンソン病の妻と共に～ (看護師/林田大地)

学会の発表では、多職種が関わり取り組んだ様々なケースの話をお聞きでき、退院支援を進めて行くにあたってのチーム医療
の在り方を改めて考え直すことができました。また、先生方の専門的分野での貴重なお話も聴く事ができ大変勉強になりました。
この経験を今後の看護に活かしていきたいと思えます。

支えること、支えられること～A氏の事例を通して～ (訪問看護師/浅生菊代)

今回、九州精神医療学会へ参加させて頂き、他病院で行われている医療、取り組みについて多くの知識を得る事が出来ました。
また私達が行った発表内容にも多くの御助言、御意見を頂く事が出来て、今後の参考に役立てて行きたいと思えます。参加にあたり
協力くださったスタッフを始め、皆様に感謝申し上げます。

軽度知的障害のある患者への支援～不安・自信のなさへのアプローチ～ (精神保健福祉士/多良望)

他院の取り組みは興味深く、新たな気づきや共通課題の認識ができました。発表者という貴重な役割に不応でありましたが、
みなさまのおかげで無事に終えることができました。患者さまのよりよい生活のため、今後も工夫しながら支援していきたいと思
います。

臨床研修医研修報告

当院は、長崎県島原病院群卒後臨床研修プログラムの協力型臨床研修病院となっています。
2月1日～29日の1ヶ月間、研修医の松瀬慶和先生をお迎えしました。

<高城病院臨床実習を終えて>

1ヶ月の期間で臨床研修をさせて頂きました。高城院長をはじめ、高城病院及び
関連事業所の皆様には誠にお世話になりました。心より御礼申し上げます。研修で
は外来診療や入院加療の中で先生方からのご指導やアドバイスを頂き、患者さん
を通して様々な疾患について学びました。また、患者さんに関わる多くの職種の方々
からもお話を聴く事ができ、チーム医療の重要性や必要性を強く感じた次第です。
皆様のお力添えを頂きまして、精神科医療における様々な取り組みを肌身で感ず
ることができた有意義な臨床研修となりました。今回の高城病院の臨床研修で得た
知識や経験は今後の臨床研修や実務に生かしていきたいと考えています。短い
期間でしたが、本当にありがとうございました。



松瀬 慶和 先生

資格合格おめでとうございます!

山本強さんが正看護師に、深井友莉子さんが臨床心理士に、
それぞれ合格されました!

2015年10月20日、恒例のウイングカップゲートボール大会を開催しました。



ゲートボール大会の様子

秋晴れの素晴らしい気候の中、当院の開設地である杉谷地区中尾川河川敷での開催となりました第19回ウイングカップゲートボール大会でしたが、競技では各チーム熱戦が繰り広げられ、また真夏に戻ったのではないかと感ぜられる様な熱い大会となりました。

結果、優勝は中原、準優勝は大三東、三位は分校でした。個人賞では、殊勲賞 柴田様、技能賞 太田様、敢闘賞 草野様と大活躍された皆様が入賞されるという素晴らしい結果となりました。開催より19回を数え、今後更に地域の皆様との交流を深めていけるような大会にしていきたいと考えております。本当にありがとうございました。

統括事務部/林田 憲治

永年勤続表彰おめでとうございます!

医療法人ウイングで2名の方が永年勤続で表彰されました。

県医師会による永年勤続の表彰が行われました。当法人から以下の2名の方が30年、20年の永年勤続としてそれぞれ表彰されました。これからも後輩を育成しながら、今度は30年、40年、50年を目指して頑張ってください(笑)



永年勤続者(左から大場、松尾)

松尾 浩昭 (2階/准看護師) [勤続30年]

思い出せば30年は早いものでした。患者さんやスタッフとの出会いと別れ、噴火災害、避難誘導、そして新しい病院への移転、いろいろな経験をさせて頂きました。30年分の言葉を探してみましたが、見つかりません。とにかくこれからもガンバリます。

大場 ひでか (2階/看護補助者) [勤続20年]

早いものであつという間でした。今思い浮かべれば、普賢岳噴火、新しい病院への移転、色々大変でした。これまでこれたのも院長先生を始めスタッフの皆さんのおかげです。これからも、できるか分かりませんが今後ともよろしくお祈りします。

編集後記

多くの方が犠牲となった東日本大震災から5年、未だ多くの方が避難生活を強いられていますが、めざましい復興を果たされ、日々応援していた立場ながら逆に元気を頂く毎日です。当院も普賢岳噴火災害から23年を経て新築移転20周年を迎えます。東北の皆様には負けない勢いで更に発展、邁進していけたらと思います。

広報委員/大津 健次郎

医療法人ウイング概要

病院施設基準	<基本診療料> ◇精神病棟入院基本料15対1(2階病棟/72床) ◇精神療養病棟入院料(3階病棟・4階病棟/120床) ◇看護配置加算(2階病棟) ◇看護補助加算1(2階病棟) ◇診療録管理体制加算 ◇精神科地域移行実施加算 ◇精神科身体合併症管理加算 ◇救急搬送患者地域連携受入加算 ◇重症者加算1 ◇退院調整加算	
	<特掲診療料> ◇精神科作業療法 ◇医療保護入院等診療料 ◇薬剤管理指導料 ◇精神科デイケア	
法人事業所	高城病院(精神科・内科) 診療所「ストレスクリニックウイング」 指定訪問看護ステーション「ウイング大手門」 指定共同生活援助事業 「グループホームウイング」 歯科「高城歯科クリニック」	総職員数 役員(医師との兼務者を除く)1名 医師7名 歯科医師2名 薬剤師4名 看護師39名 准看護師30名 看護補助者20名 作業療法士5名 精神保健福祉士5名 臨床検査技師1名 臨床心理士1名 管理栄養士4名 栄養士1名 調理員14名 歯科衛生士2名 事務職員22名 助手(リハ・歯科)・グループホーム世話人等8名 施設課員(営繕・運転・洗濯)13名 総数179名(非常勤含む)

2016年4月1日現在(兼務者は主たる職務で計上)

広報WING Vol.35 発行:医療法人ウイング高城病院/島原市中野町内1165番地 TEL0957-62-3105 FAX0957-63-7743 2016年4月1日発行

Vol.35

広報 WING



医療法人 ウイング 高城病院
 高城病院ホームページ/ www.takagihp.or.jp
 Eメールアドレス/ wing@takagihp.or.jp

基本理念

患者さんに対する思いやりと
 奉仕の精神で医療にあたる